

タウンミーティング 1 日目

日 時：平成 30 年 2 月 25 日（日） 午前 10 時～午前 11 時 30 分

会 場：王寺町文化福祉センター 2F 会議室

タウンミーティング 1 日目の質疑応答内容

<1 人目：女性>

- 学校を運営しながら長期に渡って建設するとのことだが、その間学校生活を送る子どもたちへの配慮等について教えてほしい。（三郷町では、仮設校舎を建てている。）
- 王小・北小校舎は古すぎて使いものにならない（柱等が曲がっている等）との声を保護者等から耳にすることがあるが、専門家による調査等は実施しているのか。

<事務局>

- 現在は基本計画の段階であり、今後の基本・実施設計の段階で具体的につめる。仮設校舎は、1つの方法であり、学習する環境が著しく変化することも懸念される。工事期間が長いため、十分考慮しながら進める。
また、グラウンドについては、工事期間中、代替施設の利用等も含めて考えていきたい。体育館については新設体育館の完成後に旧体育館を取り壊す計画としているため、屋内の授業については確保できるものとしている。
- 王小は築 58 年、北小は築 41 年経過している。しかし耐震補強を実施しているため、安全な施設である。また、新たな学校の開校を目指すからといって、既存校舎の補修等は怠らない、必要な補修は随時、速やかに実施している。

<2 人目：女性>

- 学校の建設にあたり、財源は確保されているのか。

<事務局>

- 最終確定ではないが、国の補助金が 50%弱、町負担が 50%強である。新たな施設設備について、どの程度費用が掛かるかは基本・実施設計段階ではっきりする。できるだけ、財源確保できるようにしていきたい。

〈3 人目：女性〉

- この設計を考えたのは誰か。（学校施設のことをしっかり分かっているか）
- 図書室はあるのか。（図書室が学年交流の場となっている事例もある）

〈事務局〉

- 平成29年に学校建設の実績がある㈱大建設にプロポーザル方式により、決定・発注した。教育委員や学校の先生等によって構成された施設設備プロジェクトチームを立ち上げ、施設について議論を重ねた。また、各校に持ち帰ってもらい、各校先生たちの意見も聞いた。
- 1階のメディアセンターと表記している部分である。計画では一般教室のような隔離したような設えではなく、図書や、パソコン教室など、ICT設備を含めたメディア環境に対応している。

〈4 人目：男性〉

- （北）義務教育学校については、施設一体型、（南）義務教育学校については分離型で同時開校すると聞いている。一体型、分離型のメリット・デメリット等をしっかり精査し、（南）義務教育学校についても並行して事業を進めてほしい。

〈事務局〉

- （南）義務教育学校の施設設備の諸条件ということで、適性を調査するために、地形や地質、立地条件、環境条件など様々な課題を整理するための調査を平成30年度より着手する。概算の工事費などを算出し、（南）義務教育学校の整備の基本的な考え（案）をまとめ、議会、地域の方々にお示しし、方向性を決めていきたい。

〈5 人目：女性〉

- 開校時にはグラウンド、体育館を全て使える状態になっているのか。
- 制服や備品についてはどのような計画をしているのか。

〈事務局〉

- 体育館、プールについては新しい施設を使用することが可能。グラウンドについては、旧校舎の解体等により一定の制約を受ける。町内施設（健民グラウンド等）の利用等を検討していく。
- 総務プロジェクトチームの中で通学路、制服の件について協議を行う。それぞれ保護者の方の意見を聞き、反映していく。卒業までの年数が短い方など買い替えの負担も大きいことから、このような制服対応等についてもプロジェクトチームの中で案をまとめ、保護者の声を聴きながら決定していきたい。